

梅雨前線と低気圧による大雨の状況について ～『災害をもたらした気象事例』に資料を掲載しました～

令和6年7月23日から26日にかけての梅雨前線と低気圧による大雨の状況に関する資料をとりまとめました。

気象庁では、大きな被害をもたらした気象事例や社会的な関心・影響が高い気象事例について、気象の状況を取りまとめた『災害をもたらした気象事例』として、ホームページで公表しています。

令和6年7月23日から26日にかけて、梅雨前線と低気圧の影響で北日本を中心に大雨となり、気象庁は山形県を対象に大雨特別警報を発表しました。

この大雨により社会的な影響が大きい被害が発生したことから、当時の大雨に関する資料をとりまとめ、『災害をもたらした気象事例』に掲載しました。

＜災害をもたらした気象事例＞（気象庁ホームページ）

<https://www.data.jma.go.jp/stats/data/bosai/report/index.html>

問合せ先：大気海洋部 気象リスク対策課 川崎、大塩

電話 03-6758-3900（内線 4256、4257）